

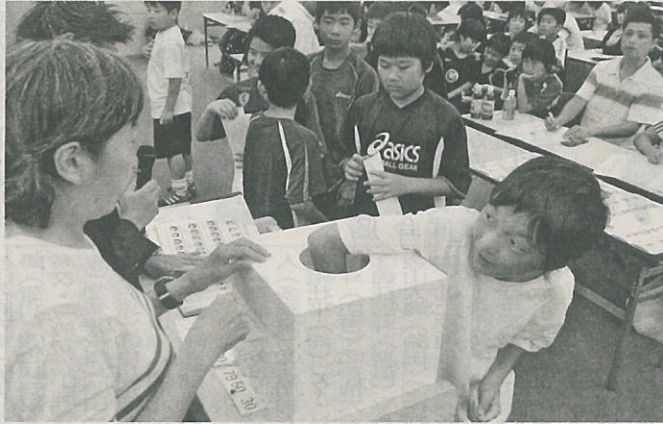
県サッカー少年団大会

113チーム頂点目指す

来月17日開幕 組み合わせ決定

8月17日から始まる第39回徳島県サッカー少年団大会（県サッカー協会、徳島新聞社、四国放送、県スポーツ少年団主催）の組み合わせ抽選会が30日、徳島市の新聞放送会館であり、対戦相手が決まった。

参加したのは、選手や保護者ら約250人。少年部の8チームをシ



真剣な表情でくじを引く選手たち＝徳島市の新聞放送会館

ドした上で、各チーム代表者が順番にくじを引いた。選手宣誓は、大会回数の39と同じ番号を引いたりペリモU-11（徳島市）の岡高一郎主将（10）が行うことになった。

今回は、少年の部には前回より7チーム多い108チーム、少女の部には前回より1チーム少ない5チームが出場。8月17～25日の6日間に、徳島市球技場、鳴門球技場、鳴門第2競技場の3会場で計112試合が開催される。

選手がボールに触れる機会を増やそうと、前回から導入した8人制を今回も採用。熱中症予防のため、決勝戦を除き午後

1時～同2時半には試合を行わない。

抽選会に先立ち、徳島大学整形外科の岩目敏幸医師による腰椎分離症などの故障についての講義もあった。

（吉松美和子）

（協賛）四国コカ・コーラボトリング、協力）NPO法人徳島みらいネットワーク、県体育協会、県医師会

組み合わせ表は後日掲載します。

岡君（リペリモ11）選手宣誓



「大会の始まり
盛り上げたい」

「大会の始まりを盛り上げたい」と意気込むのは、選手宣誓を行うことになったリペリモU-11の岡高一郎主将＝写真。「人前で話すのは恥ずかしいけど、すごくうれしい」と満面に笑みを浮かべた。

チーム名の「リペリモ」はブラジル語で「自由」という意味。その名の通りにのびのびと試合を楽しむことと、参加選手たちの心に残るような「かっこいい宣誓」をすることが目標だ。（吉松美和子）